



さざんか



令和4年12月10日号

編責 青木照子

◆がんばれ！受験生！

今年もいよいよ残り3週間となりました。皆さんにとって、今年はどうな年だったでしょうか。さざんかでは、いよいよ志望校合格に向けての追い込みの時期になります。

受験生の皆さんは苦しいことが多いと思いますが、人生において、何かを達成する経験はとても尊いものです。

自分と先生を信じて疑わずに、最後までどうぞやり抜いてください。

成功は最後の最後に訪れるのです。



◆冬休みに向けて

この時期は受験生以外の皆さんも、定期テストの結果が出て一喜一憂しているかもしれません。しかし、テストの結果は「終わり」ではなく「始まり」なのです。できなかったところの復習や3学期に向けての予習など、ライバルたちに差をつけるためのテーマはたくさんあります。

冬休みに、何をすべきか。なんとなくでは良い結果は得られません。同じことをするにもテーマを意識するのとは、大きな差がでます。

担当の先生としっかり話をして、何を意識して学習すればよいのかをはっきりさせましょう。それが、3学期の飛躍への第一歩です！

◆中学3年生の生徒ならびに保護者の皆様へ

2学期期末テスト、12月実力(学力診断)テストが終わり、志望校を決定する進路懇談会を経て、私立高校の出願準備を始める頃かと思えます。

- ◆受験校が確定すれば、**過去問題集(英俊社の赤本など)を書店などで購入**してください。
- ◆**必修テキスト(ベーシックウイング SC)を12月中に終わらせてください。**

Q. 古代アイスクリームが登場したのはなぜ？

A. 当時はお菓子としてではなく疲れた体を元気にする「健康食品」として利用されていました。食品を保存するために利用されていた氷雪を冬に貯蔵しておき、夏に兵の士気を鼓舞し、肉体を元気づける食品でした。それは今のシャーベットのようなものでした。



Q. 古代の氷菓が健康食品から嗜好品になったのはなぜ？

A. ローマの英雄ジュリアス・シーザー(BC100~44)がアペニン山脈から氷や雪を若者に運ばせて、そこに乳や蜜、ワインなどを混ぜて飲んでいたので嗜好品として広まったと伝えられています。

Q. 「ミルクアイス」をヨーロッパに伝えたと言われている人物は？

A. マルコ・ポーロ(1254~1324)だと言われています。1295年、マルコ・ポーロは父と叔父との25年間のアジア横断の旅を終え、ベネチアに帰還しました。その際、ジェノヴァとの間で戦争が起こり、不運にも投獄されます。獄中で口述したのが「東方見聞録」です。その中でマルコ・ポーロは北京で乳を凍らせた「ミルクアイス」を味わい、その製法をヨーロッパに持ち帰ったというのです。これはベネチアで評判になり、氷菓の製法は北イタリア全土に広がったと言われています。シルクロードを通り、中国からイタリアに伝わったという説です。

お子様の学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは下記にお願いします。

月曜日から土曜日 午後2時から8時30分 ☎ 0745(43)8676

1月度受講科目の追加・変更は 12月20日まで にご連絡ください。

個別学習教室 さざんか

〒635-0096 奈良県大和高田市西町1-33 吉田ビル1F・2F

URL: <https://www.kobetsu-sazanka.com>

個別さざんか

完全個別対応 Web授業

学研プライムゼミ

市進 **ウイングネット**

AIがスピーキングを自動採点
英語4技能対策アプリ

ELST®